

とっとり 土地改良だより



発行
みどり
水土里ネットとっとり
鳥取県土地改良事業団体連合会

〒680-0911 鳥取市千代水四丁目37番地

TEL (0857) 38-9500 FAX (0857) 38-9577

<http://www.totirengonet.or.jp>

印刷所 日ノ丸印刷株式会社



農村の風景フォトコンテスト2018
「秋いっぱい薫り」 大山町

○第1回 監事会	2
○第1回 理事会	2
目 ○鳥取県管理運営体制強化委員会	3
○鳥取県受益農地管理強化委員会	3
○令和3年度 複式簿記導入促進特別研修	4
○「とっとり水土里の女性会」が「しまね水土里女性の会」の研修会へ参加	4
○ため池の保安全管理に関する研修会	5
次 [シリーズ]	
○あつまれ、 <small>みどり</small> 水土里のなかまたち	6
○編集後記	6

第1回 監事会

令和3年度第1回監事会を6月28日(月)鳥取県土地改良会館において、監事3名の出席のもと開催しました。

渡邊代表監事の挨拶の後、事務局より以下の4項目について報告しました。

- (1) 令和3年度の組織体制
- (2) 監事会における指摘事項等の処理について
- (3) 代表監事による会員との契約について
- (4) 令和3年度事業実施における課題について

続いて、「監査項目の実施計画」に基づき、令和2年度会計の決算監査(令和2年度事業報告、貸借対照表、会計収支決算並びに財産目録について)を実施しました。



監事会の様子

第1回 理事会



理事会の様子

令和3年度第1回理事会を7月19日(月)鳥取県土地改良会館において、理事12名の出席、監事3名の同席のもと開催しました。開会にあたり、榎本会長から「この度の記録的な豪雨によって、農地、農業用施設が中部を中心に被災しています。本会では、災害復旧に尽力していきたいと思っております。」と挨拶しました。続いて、来賓の鳥取県農林水産部農業振興監農地・水保全課 森田課長が挨拶され、議事に入り議案第1号から3号まで審議し、全議案について承認されました。なお、本年度より、技術力向上や会員技術指導・助言を行うにあたり、緒方英彦教授(鳥取大学農学部生命環境農学科生命環境農学講座)が農業土木技術分野の専門家として参与に就任しました。

<議 事>

- 議案第1号 顧問・参与の委嘱について
 議案第2号 規程、約款及び事務処理細則の一部改正について
 議案第3号 令和2年度事業報告、貸借対照表、会計収支決算並びに財産目録について



榎本会長の挨拶



緒方参与の挨拶

鳥取県管理運営体制強化委員会

6月25日(金)に鳥取県土地改良会館において、令和3年度鳥取県管理運営体制強化委員会を出席委員8名(欠席1名)で開催しました。

最初に、委員長となる本会の中村常務理事より「土地改良相談については、会員土地改良区にフィードバックしています。複式簿記の指導に関しては、他県より進んでおり、今後も強化します。」と挨拶しました。

続いて、委員長が議長となり、以下の議事内容について承認されました。



委員会の様子

(1) 令和2年度鳥取県管理運営体制強化実績報告について

(2) 令和3年度鳥取県管理運営体制強化実施計画(案)について

委員からの意見等は、以下の通りです。

Q. 複式簿記の指導に関して、土地改良区毎で特徴があると思います。きめの細かい指導をお願いします。

Q. 複式簿記巡回指導に入っていない土地改良区があります。なぜですか。

A. 土地改良区巡回指導の対象としている土地改良区は、単式から貸借対照表を作成する土地改良区、他の土地改良区と比べて複式簿記が進んでいない土地改良区等です。巡回指導の対象としていない土地改良区についても、随時、個別訪問、メール等で指導を行っています。令和4年度からの本格実施に向けて、すべての土地改良区の指導を行っていきます。

鳥取県受益農地管理強化委員会



委員会の様子

6月25日(金)に鳥取県土地改良会館において、令和3年度鳥取県受益農地管理強化委員会を出席委員7名で開催しました。

委員長となる本会の中村常務理事の挨拶に続いて、委員長が議長となり、以下の議事内容について承認されました。

(1) 令和2年度受益農地管理強化対策実績報告について

(2) 令和3年度受益農地管理強化対策実施計画(案)について

意見交換の中では、新規に土地改良事業の要望が上がっているが、事業要件に合わない地区もあるということでした。

その後、鳥取地方法務局 渡邊徹志郎首席登記官から、相続登記等の義務化及び土地の所有権放棄制度など近年の新規施策についての情報提供がありました。相続放棄による国庫帰属は、土地改良区にとっても受益農地の財産放棄を懸念しているという意見があり、法務局へ問合せ等反響があるとの話でした。

令和3年度 複式簿記導入促進特別研修



特別研修の様子

6月30日(水)新日本海新聞社中部本社ホールにおいて、水土里ネットとっとりが複式簿記導入促進特別研修を開催し、土地改良区の役員、職員ほか54名が受講しました。

開会の後、参加者は、動画による講義を受講しました。また、受講の合間に、総務企画課山崎主任が個別相談を受けました。

研修終了後、本会の坂本課長より「いよいよ、令和4年度から複式簿記(貸借対照表作成)が始まります。本年度から実施の土地改良区は、他の土地改良区の見本となるように頑張ってください。また、試行の土地改良区は、本

日の研修を踏まえて、準備を進めて頂きたい。」と挨拶しました。

なお、土地改良区体制強化事業の複式簿記巡回指導、財務強化相談(複式簿記)により、令和4年度から貸借対照表の作成が義務付けられている土地改良区へ指導・支援しています。また、随時相談を受け付けていますので、お問合せ下さい。

【研修内容】

午 前 の 部	午 後 の 部
A：資産評価マニュアル等	C：開始貸借対照表
B：会計細則等の見直し等	D：財務諸表等の作成手順

「とっとり水土里の女性会」が 「しまね水土里女性の会」の研修会へ参加



意見交換会の様子

7月27日(火)鳥根県土地改良会館において、「しまね水土里女性の会」が「令和3年度第1回研修会」を開催し、「とっとり水土里の女性会」から、檀床会長を含む5人のメンバーが参加しました。

しまね水土里女性の会の永井裕紀会長は「これからどのような活動をしていくか、とっとり水土里の女性会からご意見をいただき活発に活動していきたいです。」と挨拶されました。また、檀床会長は、土地改良区勤務当時を振り返り、「水路や圃場の農業基盤を作るのは土地改良区、作物を作るのはJA。農業で儲けてもらいたい。という気

持ちを持って、県土連や県土木等、手伝ってもらえる組織との交流を深めていくのが大事。」と話しました。その後、グループに分かれて、とっとりとしまねの女性会メンバーで意見交換会を行い、今後の活動内容について話し合いました。「そば打ちをして交流を深めたらどうか。」、「鳥根は東西に長いので集まるのが難しい。」、「土地改良区の管理施設の視察がしたい。」など、鳥根県ならではの悩みや意見が飛び交いました。この研修会が県をまたいだ交流のきっかけとなり、今後のさらなる女性の活躍に期待したいです。

ため池の保安全管理に関する研修会



中村常務理事の挨拶

7月30日(金)とりぎん文化会館において、水土里ネットとっとり(以下、本会)の主催により「ため池の保安全管理に関する研修会」を開催し、鳥取県、市町、土地改良区、ほか32名の参加がありました。開会にあたり本会の中村常務理事が「近年ため池が決壊する災害が増えてきており、ため池の防災対策に関心が高まっている。本県でもため池が損壊、決壊するなどの被害がでており、危険なため池とならないよう、ハード対策とソフト対策の両面で防災対策をとっていくことが重要になる。」と挨拶しました。

最初に、鳥取県農林水産部 農業振興監農地・水保全課 川内大輔課長補佐より『防災減災対策に係るため池関連法令と管理体制の整備について』と題して講義がありました。「決壊による水害とその他の災害により周辺の区域に被害を及ぼすおそれがある農業用ため池を『防災重点ため池』として県内315箇所を指定した。地域の防災力向上に向けて、ハザードマップ作成や未使用ため池の廃止促進、監視装置の導入に国からの定額支援で実施が可能であり、積極的な対策を検討ください。」と話がありました。



鳥取県農林水産部 農業振興監
農地・水保全課 川内大輔課長補佐

次に、本会の宮本事業部長が『ため池の調査点検とハザードマップの活用について』と題して講義しました。「ハザードマップを配布し、ワークショップを行うことでその時の防災・避難意識は高まるが、時間が経過するほど関心が薄れることの課題がある。」と話しました。

休憩後には、鳥取大学農学部生命環境農学科 緒方英彦教授より『HPFRCCを表面遮水壁および下流法面保護層に用いるため池更新技術』と題して講義がありました。「HPFRCC表面遮水工法とは耐候性に優れ破損の恐れがない表面遮水工法で、ため池の改修工事に非常に有効である。鳥取市の仏谷ため池で試験施工し、7年ほど経過しているが目立った欠損はなく、部分的な補強対策として期待できる。」と話がありました。

その後、鳥取県出身の弘前大学農学生命科学部地域環境工学科 森洋教授より『ため池台帳を用いた地震被害ため池の検証と各県のため池での廃止工法事例と課題について』と題して講義がありました。「廃止ため池では開削工法が主だが、水を残したい場合は全堤高での開削をせず、ある程度提体を残すような方法もある。完全な廃止ため池とならない工事例もあり、廃止後も継続的に維持管理が必要である。」と話がありました。



鳥取大学 農学部 生命環境農学科
緒方英彦教授

最後に、本会の福政主任が「田んぼダムについて」説明し、福井主任が「水田の自動給水について」報告しました。ため池の修繕には技術的な見解が必要です。ため池についてお困りのことがありましたら是非ため池サポートセンターにご相談ください。



愛と絆のある農業・農村をめざして
水と土を愛する
なかまたちを順次ご紹介

北条砂丘土地改良区 技師 中井優香



鳥取砂丘 砂の美術館

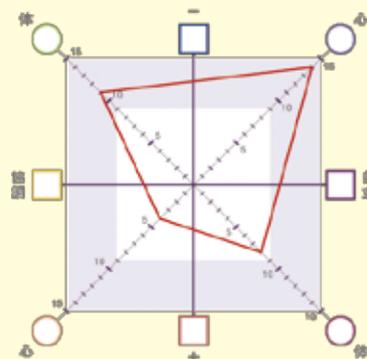
北条砂丘土地改良区の中井と申します。2020年6月に採用していただき、1年が経ちました。覚えが悪く、職員の方、組合員の方にはご迷惑をおかけしていることでしょうか…。少しでも早く仕事を覚えられるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い致します。

皆さんは「ニオイ」気にされていますか？

以前「嗅覚反応分析」というものを体験して面白かったので紹介します。「嗅覚反応分析」とは香りの好みから体調や心理の変化を読み解くもので特許も取得されているそうです。男女の相性も

香りが大切だったり、認知症が進むと匂いが分からなくなったりするといえますし、嗅覚って大事！精油毎に効能も違い、自分に必要のない成分は「臭い、嫌なニオイ」と感じるようです。8種類の匂いを好みの順に並べて特性のグラフを出していきます。リラックス作用のある香りが一番良い香りだと感じたら、それはリラックスできていない、ということになるそうです。足りないから必要→いい香りだと感じさせて摂取させよう！みたいな感じかなーと。グラフの形で運動、食事、気分等、自分の特性を読み解いてもらい、改善のアドバイスをもらうことができます。不定愁訴（偏頭痛等の原因不明の不調）の改善も目指したりもできるようです。

私の場合は、先人を切るタイプではなく後ろから付いて行く、ヨガのような静的運動より動的運動の方が向いている、効果が出やすい、等のアドバイスをいただきました。（傾向なので当たっている！と思うかは人それぞれ？）私は自分の状態を伝えるのが下手なので、診断していただくとき、担当の方も苦笑いでしたが、悩みをしっかりと伝えられるとより正確な診断をしていただけたと思います。鳥取県にも何件か分析してくれるお店があるので、占いやアロマがお好きな方は是非体験してみてください。



第28回 農業・農村フォトコンテスト2021

- 四季折々の風景や、農村、里山、棚田など農業・農村に関するもの
- おら祭などの地域のイベントの光景や、農業体験(田植え、稲刈り等)をしている子供たちの姿
- 農村に点在する田んぼへ通じている川、用水、ため池やそれに関わる活動の様子 など

■ 〆切：10月8日（金）必着

作品
募集中



編集後記

複式簿記の巡回指導等で土地改良区にお邪魔させて頂いています。コロナ禍ではありますが、いろいろお話をさせて頂くのは、とても有意義な時間だと感じています。複式簿記以外のことで、困りごとなどありましたら、どしどし相談して頂ければ有難いです。まだまだ、暑い日が続きますが頑張ります！